

藍住町 議会だより

第 52 号

平成20年2月25日

発行 藍住町議会
編集 議会だより編集委員会
徳島県板野郡藍住町奥野
字矢上前52-1

電話 (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



成人式



CONTENTS

12月一定例会	P.2
議員5人が一般質問	P.5
常任委員会・特別委員会報告	P.10・11
議会のうごき	P.12

12月定例会

12月定例会は12月10日から19日までの10日間の会期で開会され、下記の議案について審議した。

町長提案

- 平成18年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定について……………原案可決
- 平成19年度藍住町一般会計補正予算について……………原案可決
- 平成19年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)補正予算について……………原案可決
- 平成19年度藍住町特別会計(老人保健事業)補正予算について……………原案可決
- 平成19年度藍住町特別会計(介護保険事業)補正予算について……………原案可決
- 平成19年度藍住町特別会計(介護サービス事業)補正予算について……………原案可決
- 平成19年度藍住町特別会計(藍寿苑介護サービス事業)補正予算について……………原案可決
- 平成19年度藍住町特別会計(水道事業)補正予算について……………原案可決
- 藍住町重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について……………原案可決
- 藍住町国民健康保険税条例の一部改正について……………原案可決
- 藍住町特別会計条例の一部改正について……………原案可決
- 藍住町の職員の育児休業等に関する条例の一部改正について……………原案可決
- 藍住町教育委員会委員任命の同意について……………前田 薫

議員提案

- 藍住町議会議長佐野慶一君の不信任決議について……………否 決
- 乳幼児医療費助成の拡充を求める請願書について……………不 採 択
- 後期高齢者医療制度に関する請願について……………不 採 択
- 公的年金控除、老年者控除・定率減税の縮小・廃止をやめ、もとに戻す請願について……………不 採 択
- 医師・看護師などを大幅に増員するための法改正を求める請願について……………不 採 択
- 教育条件の整備に関する請願書について……………不 採 択
- 児童扶養手当減額の見直しを求める請願書について……………不 採 択



藤田議員に感謝状贈呈

十二月十九日、藍住町議会議員に対する感謝状贈呈式が行われました。

昭和六十三年二月以来、本町議会議員として多年にわたり精励され、議長並びに各常任委員会委員長の重責を歴任されるなど議会の円滑な運営と町勢発展に貢献された藤田吉雄議員に、議員在職二十一年に達する者として、町長より感謝状が贈られました。

総体質問

Q

教育管理費の子供達の椅子・机は、補正予算ではなく年次計画を立てて当初予算に載せるべきではないか。

A

今回お願いするのは、平成二十年分の生徒数を想定したもので、当初予算では予算が成立してから時間がないため、前年度の十二月補正でお願いして、四月からの入学に備えるものである。年次の進めて行きたい。

平成19年度 一般会計補正予算

- * 1億1,600万円増額
- * 予算総額85億7,800万円

主な補正の内容

総務費

- 標準宅地鑑定業務委託料 340万円

民生費

- 老人保健事業特別会計繰出金 650万円
- 東保育所駐車場整備工事 500万円

衛生費

- 指定ごみ袋販売手数料 203万円
- 指定ごみ袋製造委託料 1,320万円
- 可燃物等処理委託料 2,000万円
- ごみ収集車等購入費 1,000万円

土木費

- 町道千鳥ヶ浜3号線改良工事費 750万円

教育費

- 児童・生徒用の机・椅子購入費 977万円

平成19年度 12月補正予算(会計別)の状況

(単位：円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	84億6,200万	1億1,600万	85億7,800万
特別会計	国民健康保険事業	1億3,134万5,000	27億9,705万8,000
	老人保健事業	7,693万2,000	18億3,064万2,000
	介護保険事業	9,271万1,000	16億9,291万2,000
	介護サービス事業	△348万7,000	1,251万3,000
	藍寿苑介護サービス事業	257万	3億1,020万3,000
	水道事業(資本的支出)	1億3,706万6,000	7億4,143万3,000

夢タウン構想について

用地関係者の同意は、年度末約9割の見込み

問 夢タウン誘致の現在の進捗状況は。この夢タウン誘致が実現すれば県下の商業地域が一変すると予測されており交通網の整備が急務であると思われるが、平行して周辺道路の整備や拡張の予定はあるか。又大型店の出店により売上が減少すると思われる地元商業者の対策は出来ているのか。

答 都市計画法改正により、線引きをしていない本町では延べ床面積一万㎡を超える大型店舗の進出は不可能となったが、都市計画マスタープラン等を策定し、県の同意を得ることによって新法においても出店が可能となることから、現在、この手続きを始めている。現在の状況を見ると渋滞も相当予測され、渋滞がでるだけ少なくなるよう、町と十分協議するよう申し伝えたい。

地元企業の出店については、要望があれば積極的に取り組んでいると聞いている。必要により商工会等とも協議をしたい。



小川 幸英 議員

正法寺川の水質浄化について

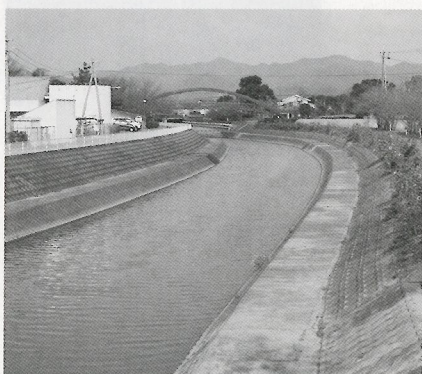
関係機関と協議しながら水質浄化に努めたい

問 正法寺川は冬場になると水が引き川底にヘドロが堆積して真つ黒な川底が見える。十数年前に一度ヘドロをすくい取り川底に砂利を敷いたことがあるが、今後どのように改善していくのか。

答 今後、EM団子を使った取り組みを行政が率先して検討したい。

また、河川管理者の県に對しても、ヘドロの浚渫等をお願いしたい。

各地でEMを使って水質浄化に取り組み成功した事例を聞くが、本町においてもEM団子を川に投入し水質浄化を図ってはどうか。



正法寺川

南海、東南海地震対策について

それぞれのシステムについて検討をしていきたい

問 気象庁から十月一日にサービズ開始された緊急地震速報を本町においてはどのように活用していくのか。地震に對して揺れる前の十秒で命を守ることが第一と思うが、この気象庁の緊急地震速報を受信して音と光で知らせるEQガードを

導入し、町内各所にある地域防災無線に直結し、町民の命を守ることを考えているか。又子供たちの命を守ることに第一と思うが教育関連施設に早期導入を求めらるかどうか。

答 緊急地震速報の活用には、国等が整備しているシステムと民間事業者において運用しているシステムがある。

本町の同報系無線については、数年後には老朽化による設備更新やデジタル化への移行の必要が迫っているため、現時点ではこれに合わせて整備を行いたいと考えている。

その他の質問

- 行財政改革で実施した事業について
- 通学路の安全対策について
- 町内の要介護者に対する取り組みについて

ボランティア活動支援対策

まちづくり等に大きな力となっており、
今後も支援していきたい



正法寺川を考える会・清掃活動

問 心の通う明るいまちづくりの為に、藍住町ボランティア連絡協議会、PTA、交通安全母の会、正法寺川を考える会、地域役員他各団体の方々が日々頑張っており、ありがとうございます。そこで行政の支援であるが、財政難で活動費削減の折、高見の見物でなくボランティア活動に参加共鳴し、共に知恵、アイデアを出して町の活性化にと取り組みをして頂きたい。今後、防災防犯環境福祉等多方面にわたって町政の更なる充実を図る為にも全町挙げてのボランティア団体との意見交換会の開催、又、計画的に地域町政懇談会開催を行政の施策に。又、心の健康に備え「ボラン

答 社会福祉協議会が事務局を担うボランティア連絡協議会への加入を呼びかけ、横の連携を図っていききたい。又、そうすることによって全体的な講演会開催にもつながると思う。意見交換会などを通じ、共に意見や知恵を出し合い、安全で安心なまちづくりを進めたい。

ティア活動講演会」の開催を。



永浜 茂樹 議員

大型店舗進出に備えての関連整備対策

開発計画の段階で協議を行い、交通渋滞解消や
排水対策に努めたい

問 北環状線沿いを始め町内全域で宅地化が進み大型店舗進出の現実を見極める中、町全体を視野に入れての交通差点改良、交通渋滞緩和対策として計画的道路整備を。又、北環状線沿いは現在迄に十五町の農地が宅地化され、夢タウンも八町五反進出。今まで土地に浸透していた雨水が全部地上に溢れる現状、今後の台風・豪雨等、全町の抜本排水対策と正法寺川・前川・千間堀等の改修については国、県へ陳情申請対策を講じて頂きたい。

答 渋滞対策として、信号機の効率的運用を警察にお願いしたり、交差点改良工事も含めた道路維持を行いたい。

排水対策については、特に千鳥ヶ浜地区では、大雨の時には短時間で正法寺川に流入することが予想されるが、樋門ポンプの排水能力に限界があるため、国土交通省にポンプ増設の陳情を行った。早期増設は困難とのことであるが、今後も陳情を続けたい。

排水路改良工事は、来年度も数カ所を予定。千間堀も計画的に既存ブロックの修理を予定している。正法寺川・前川の排水対策を管理者である県と協議しながら進めたい。

また、町道や主要排水路の改修工事について国や県の補助が受けられるよう努力したい。

その他の質問

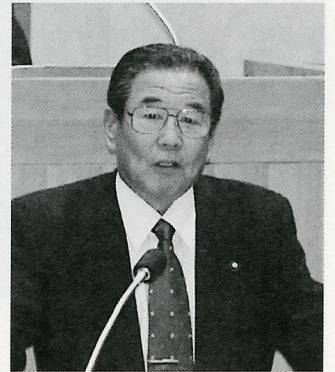
- 北環状線沿いに交番設置を
- 県道笠木交差点北側の改良について
- 児童・生徒の下校時の安全対策について
- 防災防犯・情報周知対策・各集会所にケーブルテレビ設置支援を

石川町長が就任以来、第一に掲げてきたのが「行財政改革」である。その中身は民間などに業務を「丸投げ」しただけで行財政改革になっていないのではないかと。また「住民へのサービスの低下をすることなく」というのがこれも実現していないのではないかと。

問 児童館の社協への委託は正規職員を引き上げて新たに臨時職員を雇用するのでは財政的にはマイナスではないか。削減効果見込み額は五、四六二万円となっているが社協への委託料の推移はどうなっているのか。

答 正規職員は他の部署へ異動させるので直ちに効果があるとは言えないが、職員を配置すべき期間を減ずることとなり、将来に向けての効果があると考えている。

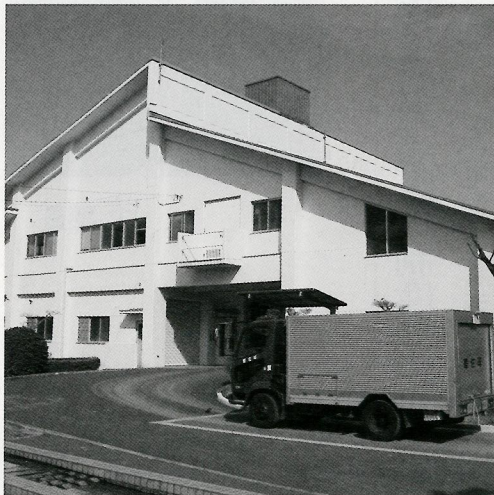
児童館の経費は、平成十七年度四、八一六万七千円、平成十八年度五、〇四六万四千円、平成十九年度現時点での経費見込額は六、三六〇万九千円となっている。主な増額内容は人件費、施設修繕費等である。人件費の増加については、年々増加する学童保育利用者数に対応するため、職員の増員を実施したこと等によるものである。



喜田 敏夫 議員

問 し尿収集業務は町民の負担は格段に増えている。年間八、〇〇〇トンを五、〇〇〇万円委託するのは高すぎる。直営で臨時職員でやれば二、〇〇〇万円で購入するのではないかと。ごみ袋の有料化もごみが飛躍的に減ったというが本当か。いずれも町民に二重の負担を強いているだけではないか。

答 平成十八年度中央クリーニングステーション管理費と平成十九年度委託料を比較すると、収集車五台の減価償却と車検代等の経費を加えて約一、六〇〇万円の効果額になるかと考える。指定ごみ袋の導入にあたっては、皆様の御理解と御協力をいただき、可燃物のごみの分別・減量に大きな効果が上がっている。また、循環型社会の形成にもつながる。



し尿処理場

問 藍寿苑、学校給食の調理部門を民間委託しようとしているが民間委託では安心できない。「地産地消」「食育」「食の安全」などを考慮すれば直営でやるべきである。

答 安全で安心な給食を継続して提供できるように取り組んでいく。

食材の製造元・販売元や、流通経路の報告を義務付けていく方針である。

また、委託業者に対し、県内、町内の特産品や旬の食材を取り入れた献立作りや地産地消の積極的な実施を求めていく方針である。

ごみ袋有料化の批判と改善すること

分別意欲を維持するためこのままの状況を見守り、持続的な減量効果を図りたい

問

一 町民の方は集積場はきれいになったという声と共に、「ごみ袋が高くて弱い、プライバシー侵害だ」という声。「北島、松茂町は無料。板野、上板町は、安くて名前を書かなくても回収」しているので改善を

- 二 ガラスビンや金属の小袋を作ること
- 三 廃プラスチックの回収を増やすこと
- 四 ゴミ袋有料化で町の収益は、収益は住民に還元を
- 五 くみ取り料が高いという意見だが

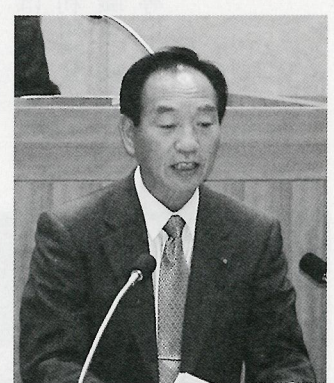
答 燃やせるごみ袋は破れにくい材質に変更、ガラス・ビン・金属は小袋を作成、平成二十年四月から廃プラ回収日増の計画である。記名制はごみの分別の徹底、減量化に対する意識を高めるため。万一プライバシーの侵害があった場合、早急



ごみ収集作業

に保護対策を講じる。十一月末現在、ごみ袋販売額から手数料、製造料等を差し引き二、一二七万五、三〇五円の収支である。

し尿収集手数料は、十二年間据え置いてきたが、社会情勢の変化や隣接市町との格差もあり、県内の状況等を参考に平成十六年十月から従量制による料金体制に改正した。



林 茂 議員

後期高齢者医療制度は中止・撤回を

国保から約一千七百人、その他社保等から約六百人が移行する、特別徴収は内八割程度の見込み

問

- 一 町国保から移行する人数と健保から移行する人数、年金が月一万五千元未満の人数
- 二 いまは、障害者、高齢者の方の保険料滞納につ

いては、人道的な立場から保険証はとりあげられることはないが、滞納で保険証は取り上げないようにする

- 三 保険料の免除が可能なのは刑務所へ入っている

答 健康診査を継続しないのは全国で徳島県だけ、健康診査を継続するように

答 保険料等は広域連合の条例で規定、現在のところ免除は考えていないとのことである。今後、健診対象者の見直しや拡大も検討していくようである。

市町村合併は、住民に判断材料を行うこと

板野郡合併検討協議会の中で住民意識調査の検討を進めている

問

合併に対する石川町長の考えは
住民アンケートを取るからには、「合併のメリット、デメリット」の情報公開を行うこと

答 基本的には、合併に頼ることなく自立したまちづくりを目指している。

住民意識調査はメリット・デメリットの情報公開をし、その上で回答していただくよう十分検討したい。

学校給食・全国学力テスト

学校給食法改正案浮上と

全国学力テスト結果について

今後も食教育、地産地消に努めたい

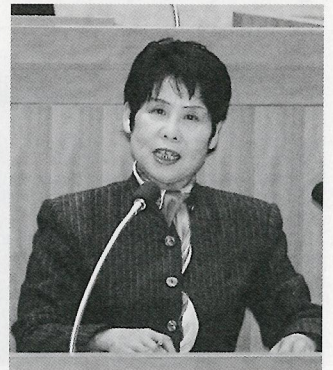
問 食育への転換は単に食生活の改善だけでなく、地産地消、農業への理解が深まり食材の安全安心についても問題意識が芽生えるの

で期待するが民間委託を含め今後の取組みについて尋ねる。

学力テスト結果の分析で格差社会の影響が見受けら

れたようですが学力向上への取組みを尋ねる。

答 平成19年度は西小学校が食育推進モデル校の指定を受け、食育全体計画の策定、食育推進のための課題



西岡 恵子 議員

の実践検証を行っている。中学校の給食関係民間委託は、調理・洗浄部門を考

えており、食材料の発注等は現在の体制を堅持することになっている。

全国学力調査の結果を受け、家庭や地域との連携を図り、より効果のある授業や教育システムにつなげていく必要があると考えている。

ごみ処理対策

ごみ袋・廃プラスチック類の収集・リサイクル施設について

今後も住民サービスの向上に努める

問 町民からのごみ袋の品質、価格の不満への対応とごみ袋有料化に伴い町民の意識変化で減量化傾向（9

月前年度比23%、10月15%、11月12%）だが徐々に減量化率が低下、気を引き締めたい取組みが必要と考えるが如何か。

来年度4月1日実施に向

けるの廃プラスチック類の収集日増についての現計画について尋ねる。

答 今後ごみのリサイクルへの取組みは避けては通れませんがリサイクル施設建設について尋ねる。

答 集積所での徹底した指導と広報で減量化のPR、小学校に向いて環境教育等を行いながら活動に努め前年度比10%以上をキープしたい。

廃プラ収集日は、水曜日、月3回から4回になるよう見直し中である。

リサイクルセンターは必要な設備であり、実現に向けて努力したい。

子育て支援

支援の現状と更なる充実に向けて

親に対する支援が大切であると感じている

問 子育て支援は本町の人口増の大きな要因の一つ、様々な取組がされておりますがその現状と先進地である本町の更なる子育て支援充実に向けた取組み、又妊婦の健康診査の公費負担増について尋ねる。

答 様々な事業を実施しているが、子育て支援、また少子化対策として、仕事と

子育てを両立できることが重要な施策の一つであり、今後も学童保育等の充実

に努めたい。保育所では、開放保育の時間や給食だよりの中で生活リズムや食育の大切さの啓発をしている。

妊婦健康診査は、来年度から公費負担を2回から5回に増やす。



保育所
(食育ボランティアによる指導)

その他の質問

- 地震予知の活用法【緊急地震速報】について
- 児童福祉（児童虐待）について
- 町民への健康対策について
- 藍寿苑の民間委託について
- 下水道事業について
- 男女共同参画社会の実現について
- 住民参加の町づくりについて

建設産業常任委員会報告

十二月三日、開催され、水道浄水場工事現場の視察及び町道改良工事の説明を受けた後、質疑を行った。

町道千鳥ヶ浜三号線の道路改良工事については、高低を改良するものであり、道路及び側溝の嵩上げや切り下げを行い勾配を修正する。また、側溝の排水については、現在、南側の排水路に流すようになっていたが、西側のL型水路へ流すよう、今まで一本だった配水管を三〇〇mmの管で三箇所から流すようにするとともに、東側へ抜けるルートも設ける。改修できたところの道路は舗装をやり替える計画であり、十二月議会で補正予算を計上、予算確保ができれば入札をし、年度内の完成を目指したいとの説明であった。

これが現在における最善の方法と考えるとのことであった。

水道浄水場工事の質疑では、約二〇〇本の杭を打つとのことであるが、近辺の家屋に影響は出ないのかとの質問に、十分そうということのないよう気を付け、極力影響の出ないような形で工事をしたいとのことであった。

第一浄水場は、前に改修工事を行っている。また、新たな浄水場に対する管理棟などはどうなるのかとの質問に、平成十年に電気設備の改良をしたが、受電盤やトランスなどかなり使えるものがあり、移設するよう計画している。管理棟に関しては、操作や制御は全て今の事務所がある第二浄水場で行うようにしているとの説明であった。

各地区で、ライフラインが遮断された時に使える水を溜めるシステムは考えていないのかとの質問に、そういう施設は考えていないが、浄水場は町のほぼ中心



水道浄水場工事現場

にあり、どこからも二キロぐらいの範囲であることから、浄水場のタンクから直接水を取れるパイプを設け、百箇所余りの蛇口を付ける計画であるとのことであった。

これに対して委員より、非常時に各地区のタンクから給水できるシステムをこれから考えていかななくてはいけないとの意見があった。

また、この浄水場は、災害時に町民が何日くらい持つ量なのかとの質問に、一人一日三リットルとして、七〇日程度であるとのことであった。

陳情

3件の陳情がありました。

▼電機設備工事・管設備工事の分離発注推進のお願い

陳情者 社団法人 徳島県設備業協会

▼公共事業予算の増額と社会資本整備に対する重点投資等の要望について

陳情者 社団法人 徳島県建設業協会徳島支部

▼徳島県人権教育研究協議会への支援のお願い

陳情者 徳島県人権教育研究協議会他

…平成十九年 第三回臨時議会…

十一月二十六日開催の臨時会において、次の議案を原案のとおり可決した。

●職員の給与に関する条例の一部改正について
……………原案可決

まちづくり特別委員会報告

十二月三日、開催され、最初に松茂町にある徳島東部処分場の現場視察を行い、施設概要の説明を受けた。また、現在建設中の流域下水道終末の浄化センターの現場を視察し、その後、質疑を行った。

徳島東部処分場に関して、リサイクルセンターがなければ廃プラを処分場を持って行くことができないとのことだが、リサイクルセンター建設の予定は、との質問があり、以前、建設の準備を進めていたが、地元住民の方に理解いただけるとはならない。また、今、建設についての補助金もなく非常に難しい状況である。

将来的には廃プラを資源化するため本町にとって必要な施設であり、今後検討していく価値はある、との説明であった。

徳島東部処分場



徳島東部臨海処分場

は、藍住町が負担金を出している施設であるため、受入料金にかかわらず、最優先でごみの搬入を行うと聞いたが、受入金額を決定した時、町は参加したのか。また、民間が金額を下げてきた場合、受入金額はどうなるのかとの質問には、金額については理事会で決定された。当初、民間の受入金額の方が高かったが、処分場の金額決定後、下げたという状況である。平成十五年八月に、藍住町を含めた関係市町村と東部臨海処

分場と徳島県の間で「徳島東部臨海処分場に関する基本協定書」を巻いており、その中で自らの事業であるとの認識に立ち、金額については、定められた受入料金で搬入しなければならぬという内容になっているとの説明であった。

今後、単価については、見直しができるような仕組みになっているかとの質問に、徳島東部処分場における受入金額は、徳島県環境整備公社が決めた金額になるとの説明であった。

また、受入金額については、税金で支払うものであり、藍住町は財政的に厳しいと言っている。公社の理事会の席で、民間等の金額を調査した資料を出して意見を言うべきとの意見が出された。

埋め立ては何年ぐらい持つのかとの質問に、今年供用開始したばかりであり、今後の搬入状況によるが、当初の計画では十年ぐらいとの説明があった。

定例会案内

次の定例会は3月です。次号は5月に発行します。

●お問い合わせ●

議会事務局 ☎637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

議会や町政に関する御意見をお寄せ下さい。

投稿規定

- 一 住所・氏名・電話番号を明記。
- 二 掲載時に匿名を希望する場合は「匿名希望」と記載して下さい。
- 三 字数は五〇〇字以内。
- 四 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

本会議を傍聴
しませんか？

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。

なお、傍聴席の定員には限りがありますので御了承下さい。

わたしの一言

矢上 多田 仁 恵さん

地球温暖化、消えた年金、格差社会、少子化、過疎化とため息まじりに呪文のように口をついて出てくる。年の瀬の一字「偽」が正に世相を訴え、来る年に難題を突きつけた。あーあ、季節はちょうど今頃田んぼの切り株をよけながら走り回ったり、藁の上ではしゃいで体中ハシカイ思いをしたり、政治のことなんか考える術を知らなかった子どもの頃がなつかしい。あの頃、人はみんな慈悲に深く助け合って生活するものと安心してた。今そう思えない社会になったのは何故だろう。

先日、奈良明日香村へ出かけた。歴史を守ろうとする住人と風化することのない遺跡、その周囲では確実に近代的建物が建ち景色を二分している。でも、その近代化が果たして繁栄なのか進歩なのか、私はふと時を止めたような頭の中で考えた。歴史は繰り返すというが歴史から検証できることは多くあり、過ちは繰り返さないといつも反省してきたはずだ。住みよい町は政治に携わる人だけが創るのではない。情報が錯綜する中、ますます教育の必要性も説かれ、情操面での豊かさが求められ、それが世界に広がる町になる。「花と緑と太陽の町」微笑み、微笑み返す、私はこの町を誇りに思っ暮らしたい。



議会のひびき

Schedule

11月

- 5日 後期高齢者医療広域連合議会臨時会提出予定議案説明会(徳島市)
- 公共下水道受益者負担金等審議会
- 議会たより編集委員会
- 10日 福祉・健康づくりの町フェスティバル
- 11日 藍住町戦没者追悼式
- 16日 全日本年金者組合県本部懇談会
- 板野郡町議会議員研修会(北島町)
- 後期高齢者医療広域連合議会臨時会(徳島市)
- 20日 石井町議会来庁
- 21日 板野郡町議会議長会定例会(上板町)
- 26日 第3回臨時議会
- 27日 公共下水道受益者負担金等審議会

12月

- 29〜12月1日 第51回町村議会議長全国大会・研修会(東京都・神奈川県)
- 2日 藍住町吟剣詩舞大会
- 3日 建設産業常任委員会
- まちづくり特別委員会
- 5日 第29回藍翠苑祭
- 浄水場整備工事安全祈願祭
- 6日 給食民間委託推進協議会
- 10日 12月定例議会開会
- 14日 12月定例議会一般質問
- 19日 12月定例議会閉会
- 25日 板野西部青少年補導センター組合議会(板野町)
- 26日 板野東部消防組合第3回臨時会(北島町)

1月

- 8日 鳴門市正副議長就任挨拶
- 10日 板野東部消防組合消防出初式(北島町)
- 13日 藍住町成人式
- 15日 議会たより編集委員会
- 18日 徳島県町村議会議長会理事会
- 24日 公共下水道受益者負担金等審議会
- 30日 板野郡町議会事務局職員研修会
- 31日 議会たより編集委員会



消防出初式

編集後記

早いもので本号が今任期最後の編集となりました。

この間、親しみやすく・読みやすい紙面づくりを目指し、字体の拡大、レイアウト、一般質問の字数削減・内容の要約など大幅な変更をいたしました。そして何よりも「わたしの一言」のコーナーを設け、町民よりの素朴な疑問や希望・提言などお寄せいただいたことは議会活動にも繋がっており議会がより身近に感じていただけたのではないのでしょうか。

この号がお手元に届く折には新しい議員の誕生、今後ともよろしくお願ひ申しあげます。

議会たより編集委員会

- 委員長 西岡 恵子
- 副委員長 小川 幸英
- 委員 林 幸茂
- 委員 喜田 敏夫
- 委員 奥村 晴明